

# History

昭和60年  
2月 町制施行30周年  
3月 開成駅が小田急線68番目の駅として開業



昭和63年  
3月 足柄大橋開通

平成2年  
3月 開成駅西口広場開放

平成9年  
3月 開成駅周辺地区土地区画整理事業完了

平成13年  
3月 3100形(ロンちゃん)を開成駅前第2公園に設置

平成22年  
4月 開成南小学校開校

平成26年  
3月 足柄紫水大橋開通

平成27年  
3月 開成駅開業30周年  
5月 「開成町みなみ」街開き式開催

平成28年  
4月 開成駅前子育て支援センターと開成駅前窓口コーナーを開設

平成30年  
4月 開成駅急行停車に向けたホーム延伸工事開始

平成31年  
3月 **開成駅が急行停車駅に!**



▲開成駅開業を記念して販売された「記念乗車券」。



▲現在のロンちゃん

## Interview

開成駅ユーザー歴34年の辻村さんにお話を伺いました。

学生の頃はまだ開成駅はなく、自転車で新松田駅まで出ていました。就職してからは、当時運行していた富士急行バスで栢山駅まで出て通勤していました。最終のバスが8時台で、残業すると間に合わなかったですね。

駅ができてすぐに通勤で利用するようになり、とても便利になりました。しかし当時はまだ利用者が少なく、夜に電車を降りてホームを歩いていると、乗客から「『秘境駅』に降り立った人がいる!」みたいな目で見られましたね。

駅から見えた酒匂川の松の木が、いつの間にかたくさんの建物に隠れて見えなくなったことに、時の流れを感じています。

生まれも育ちも開成町!



つじむら たもつ 辻村 保さん(下島)

(取材:まちづくり情報特派員 石崎 雅美)

## 取材後記

子どもの頃、田んぼのあぜ道を走っていくと、一面にススキが茂る場所が現れ、ちょっと不安な気持ちになったことを思い出しました。

その場所に今は駅ができ、人が集い、生活感が溢れています。駅開業から34年、駅はこれからも人それぞれの物語を発信する場所になることでしょう。

まちづくり情報特派員 石塚 敦



昭和60年6月の開成駅周辺



## 「開成駅の開業」

昭和60年、開成駅開業の式典が現在の駅入口の未舗装の道路上で行われた。その中に、駅周辺の土地区画整理事業を担当した当時町職員だった大瀬和巳さんの姿があった。

昭和30年代以降の企業誘致により、現在の駅周辺に工場建設が計画されていたが中止となった。その後、当時の町長が小田急電鉄に駅建設を提案し、駅建設と駅を核とした土地区画整理事業が始まった。大瀬さんも、地権者との交渉に奔走した一人だった。

一面田畑だった土地が変化していく姿に、初めは戸惑いを見せた人々も、家や建物が建ち、街並ができるにつれ、次第に町の将来へ期待を募らせているのを大瀬さんは感じた。「その中に身を置くことができ、本当にやりがいがありました。」

大瀬さんは当時は振り返り懐かしそうに言った。



おおせ かずみ 大瀬 和巳さん(上島)

(取材:まちづくり情報特派員 石塚 敦)

# わたしたちの

# 開成駅

今回の情報特派員特集は、開成駅が急行停車駅になることを記念して、私たちの暮らしと深く関わってきた開成駅の歴史を振り返ります。

企画政策課 ☎ 84-0312



▲昭和60年4月1日に発行された『広報かいせい』▶

